



神戸小だより

【学校教育目標】

きょう き 今日も来てよかった、
あした き おも がっこう
明日も来たいと思える学校

令和7年2月7日 NO.8

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか R6全国学力・学習状況調査の結果について

へいきんせいとうりつ 平均正答率	こくご 国語	さんすう 算数
ほんこう 本校	68	69
みえけん こうりつ 三重県 (公立)	67	62
ぜんこく こうりつ 全国 (公立)	67.7	63.4

ふくすう ぶんしょう しりょうなど ひつよう じょうほう よ
複数の文章や資料等から必要な情報を読
と
み取ることについては、ぜんこくへいきん どうとう
全国平均とほぼ同等の
ちから
力がありました。よ
読み取ったことについて
じぶん かんが じぶん ことば きじゆつ ちから か
自分の考えを自分の言葉で記述する力に課
だい み
題が見られました。

こくご 【国語】

- 問題・資料を読み取ることはおおむねできている。
- 漢字や言葉(特に主語と述語)を正しく使える力に課題がある。
- 記述の際、自分の考えを自分で言葉にする力に課題がある。

○ ○ ○ (条件)
「たてわり遊び」のよきについて考えたことを書くこと。
「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

※上の縦線は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※●の印から書きましょう。ところらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くあります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に教えの仕方をおしえたり、下級生も楽しむように、きょうごの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに遊んで熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思っています。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しむように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
○遊びたいことを下級生に聞く
○ルールをくふうする
ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
下級生に聞いたこと
○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
○4年生 みんなが楽しそうであつた

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の考えた「たてわり遊び」のよきを書こうとしています。あなたが高山さんなら、内容をどのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

【手立て】

☆目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに取り組ませる。

☆資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに取り組ませる。

☆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに取り組ませる。

☆文の中における主語と述語との関係を捉えられるように取り組ませる。

【算数】

○問題を読んで、正しい式を選択することができている。

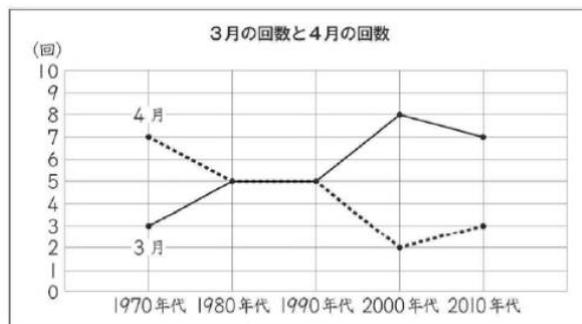
○道のり、速さ、時間の関係について理解している。

●図形（直方体・立方体）の問題について、「底面」「側面」など、算数用語を理解して図形を見る力に課題がある。

●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかを見る問題に課題がある。

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。



こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。



1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。



3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。



3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

【手立て】

☆自分の考えを、言葉や数を用いて記述することに取り組ませる。

☆表やグラフから必要な情報を読み取り、読み取ったことを言葉や数を用いて記述することに取り組ませる。

【手立て】については、学年の発達段階に合わせて、全学年で取り組を進めています。

学習した内容の定着には、家庭学習の習慣も大切です。ご家庭での見守りをよろしくお願ひします。

